

# 大分県の財政状況

令和5年度版



Explore Oita Japan  
Turn on Closed Caption  
Oita - more than just Onsen

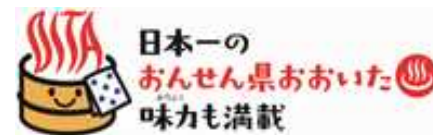
日本大分県旅遊局  
字幕请转on哩  
大分不只是温泉

沸騰大分

日本一のおんせん県おおいた 味力も満載

日本大分县旅游局  
字幕请转on哩  
大分不只是温泉

핫플레이스 오이타  
자막을 켜주세요  
오이타는 온천이 다가 아니다



# 目次

## 1. 大分県の概況

(1) 地図で見る大分県	1
(2) 大分県の日本一	2
(3) 大分県の魅力 ～温泉～	3
(4) 大分県の魅力 ～食～	4
(5) 大分県の魅力 ～観光～	5
(6) 大分県の産業	7
(7) 大分県のアクセス	8
(8) 大分県のビジョン	9
(9) 大分県のSDGsの取組	10
(10) 新たな方針と令和5年度の主な施策	11

## 2. 大分県の財政状況

(1) 普通会計決算の概要	13
(2) 主要な決算指標	14
(3) 財政調整用基金残高と県債残高の状況	17
(4) 地方公会計による財務諸表	18

## 3. 行財政改革の状況

(1) 行財政改革の状況と成果	19
(2) 大分県行財政改革推進計画 ～次世代型「スマート県庁」を目指して～	20

## 4. 公営企業等の状況

(1) 公営企業決算の状況	21
(2) 地方公社の状況	22
(3) 県出資法人の状況	23

## 5. 市場公募債の発行計画

(1) 令和5年度 市場公募債発行計画	24
(2) 個別発行市場公募債の発行実績	25
(3) 共同発行市場公募債の発行実績	26



大分県応援団“鳥”の  
「めじろん」

# 1. 大分県の概況

---

# 1. 大分県の概況

## (1) 地図で見る大分県

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置しており、北側は周防灘、東側は伊予灘・豊後水道に面している。

大分県の概要		
項目	概要	順位
人口 <sup>*1</sup>	112.4万人	九州6位、全国34位
面積 <sup>*2</sup>	6,341 km <sup>2</sup>	九州4位、全国22位
市町村数 <sup>*3</sup>	18市町村 (14市3町1村)	九州1位、全国4位 (少ない方から)
耕地面積 <sup>*4</sup>	54,200ha	九州5位、全国26位
県内総生産 <sup>*5</sup>	4兆4,580億円	九州-位、全国-位
漁業生産額 <sup>*6</sup>	35,611百万円	九州3位、全国11位
人口10万人あたり 留学生数 <sup>*7</sup>	275.5人	九州1位、全国3位



\*1: 総務省・国勢調査、令和2年  
\*2: 国土地理院・全国都道府県市区町村別面積調、令和5年4月1日現在  
\*3: 総務省・e-Stat、令和5年7月14日時点  
\*4: 農林水産省・面積調査、令和4年  
\*5: 内閣府・県民経済計算、令和2年  
※全国順位は内閣府調査にて実績未定の自治体があることから「-」としている  
\*6: 農林水産省・漁業産出額、令和3年  
\*7: 日本学生支援機構・外国人留学生在籍状況調査、令和4年度

## (2) 大分県の日本一

天然自然が豊かであり、温泉源泉総数・湧出量や地熱発電電力量などが日本一。特産品ではカボス・乾しいたけなどが代表的。



温泉源泉総数  
5,093孔  
(令和3年度末)

温泉湧出量  
298kl/分  
(令和3年度末)



(地熱発電所)

地熱発電電力量  
960千Mwh(令和元年度末)



市町村指定有形文化財(建造物)  
760件(令和4年5月1日現在)



石灰石生産量  
25,351千t(令和4年度)



乾しいたけ生産量  
769t(令和4年)



カボス生産量  
5,900t(令和2年)



ホオズキ出荷量  
1,046千本(令和3年)



サフラン(花芯)生産量  
12kg(令和3年)

### (3) 大分県の魅力 ～温泉～

「日本一のおんせん県おおいた ♨️ 味力(みりょく)も満載」というキャッチフレーズのもと、PR活動を展開している。



平成25年11月、大分県の観光PRキャッチフレーズ「おんせん県おおいた」と、湯おけのロゴマークを商標登録。このキャッチフレーズとロゴマークを活用し、温泉をはじめ、観光と食の魅力を全国にPR活動を展開

#### シンフロ

- シンクロナイズドスイミングのチームが大分県内の温泉で演技を行う「シンフロ」は、PR動画がギャラクシー賞CM部門選奨など複数の賞を受賞。続編「ゆけ、シンフロ部！」は平成29年12月に小説化された



#### うちフロ

- 令和2年5月には、新型コロナの終息祈願と、あと少し自宅のおフロを楽しむため、疫病退散の妖怪「アマビエ」が大分県の温泉や自宅のおフロでシンフロをする動画を制作



# (4) 大分県の魅力 ～食～

豊かな自然に恵まれた本県には、肉・魚料理や郷土料理など、食文化についても魅力が満載。焼酎も名産品のひとつ。

**肉**



とり天

県内全域で親しまれている、定番の郷土料理であり、家庭の味でもある

**海鮮**



関あじ・関さば

速吸の瀬戸と呼ばれる豊予海峡の急流に育った、全国にファンを持つ「関もの」

**汁物・めん類**



だんご汁

味噌仕立ての汁を基に、だんごや野菜を入れて作る、大分の代表的な郷土料理

**焼酎**

- 麦焼酎も本県の名産品のひとつであり、県別売上高では全国3位の水準を誇っている
- 本県は、全国的に知られるブランドを持つ製造元を擁している。売上高ランキングでは、全国2位・6位に本県の企業がランクインしている



おおいた和牛

幾度となく日本一に輝いてきた豊後牛の歴史が始まって百年目の節目に、新しい県産和牛ブランド「おおいた和牛」が誕生



りゅうきゅう

大分の海でとれた新鮮な魚を、醤油・みりんなどで作ったタレに浸け込む郷土料理



豊後高田そば

毎年5月にはそば祭りが開催されており、大鍋で作る1,000人分のそばが名物

**焼酎メーカー売上高ランキング\*1**

順位	会社名	主カブランド	所在地
1	霧島酒造	黒霧島	宮崎県
2	三和酒類	いいちこ	大分県
3	オエノグループ	鍛高譚	東京都
4	雲海酒造	木挽BLUE	宮崎県
5	濱田酒造	海童	鹿児島県
6	二階堂酒造	大分むぎ焼酎 二階堂	大分県
:	:	:	:

\*1: 帝国データバンク、2021年

## (5) 大分県の魅力 ～観光～

県内には、温泉・食以外にも多数の魅力的な観光スポットを有している。



高崎山自然動物園(大分市)  
野生のサルに餌付けをしており  
991頭のサルが生息(R4.1.17時点)



耶馬溪(中津市)  
日本新三景・国名勝・日本遺産の  
3タイトルに輝いている絶景スポット



日田祇園祭(日田市)  
絢爛豪華な山鉾が祇園囃子の音色とともに巡行  
ユネスコの無形文化遺産に指定



藤河内溪谷(佐伯市)  
巨大な花崗岩の一枚岩からなる奇観  
「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」にも認定



真玉海岸(豊後高田市)  
日本の夕日百選に選ばれており  
干潟に空模様が映りこむ風景が特徴



原尻の滝(豊後大野市)  
「日本の滝100選」「大分県百景」の  
ひとつにあげられている名瀑



湯の坪街道(由布市)  
由布岳を眺めることのできる  
湯布院温泉の中心地



九重夢大吊橋(九重町)  
ダイナミックな景観・スリルが味わえる橋で  
歩道専用としては「日本一」の高さを誇る



# (5) 大分県の魅力 ～観光～

○民間調査の「総合満足度」で大分県が全国1位を獲得。また、魅力的な宿泊施設も擁しており、長期に亘りランキング上位を維持。  
 ○2023年度、2024年度には全国規模の各種イベントも開催

## テーマ別・都道府県魅力度ランキング「総合満足度」\*1

- 大分県には、温泉・食以外にも魅力的な観光スポットが多数存在
- コロナ禍を経て、宿にゆっくり滞在する旅からアクティブな旅の需要が戻る中、温泉を軸に持ちながらも、まち歩きコンテンツを多く要する点が評価された

順位	都道府県	ポイント
1	大分県	90.9%
2	鹿児島県	90.2%
3	北海道	89.9%
4	岩手県	89.3%
5	京都府	88.8%
⋮	⋮	⋮

## テーマ別・都道府県魅力度ランキング「魅力的な宿泊施設が多かった」\*1

- 国内旅行実態を調査している「じゃらん宿泊旅行調査」では、長期に亘り「魅力的な宿泊施設が多かった」都道府県魅力度ランキングにて上位を維持。2022年度には2年連続12回目の1位を獲得

### 2022年度

順位	都道府県	ポイント
1	大分県	66.4%
2	沖縄県	64.1%
3	群馬県	58.6%
4	北海道	57.4%
5	京都府	56.7%
⋮	⋮	⋮

### 2021年度

順位	都道府県	ポイント
1	大分県	68.0%
2	沖縄県	65.6%
3	群馬県	59.0%
4	神奈川県	58.3%
5	鹿児島県	58.1%
⋮	⋮	⋮

### 2020年度

順位	都道府県	ポイント
1	沖縄県	63.6%
2	大分県	61.9%
3	神奈川県	61.1%
4	群馬県	60.3%
5	和歌山県	60.3%
⋮	⋮	⋮

\*1: じゃらん宿泊旅行調査(じゃらんリサーチセンター)

## 2023年 10月 ツール・ド・九州2023

- ラグビーワールドカップのレガシーの持続的継承や九州のサイクルツーリズムの推進、近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして開催を決定したUCI(国際自転車競技連合)公認のサイクルロードレース
- 第1回大会は2023年10月6日～9日に大分、福岡、熊本で開催



【大分ステージ開催予定】

日時	2023年10月9日(月/祝)
走行区間	オートポリス-日田市中心部
距離	約129km

## 2024年度 4月～6月 福岡・大分デスティネーションキャンペーン

- 大分県、福岡県、JR九州が協力して、2024年4月から6月にかけて実施
- 大分県では平成27年以来、9年ぶりの開催
- 2023年4月から9月にプレキャンペーンとして「ごほうび福岡 ごほうび大分」を実施



## 2024年度 11月 第43回全国豊かな海づくり大会



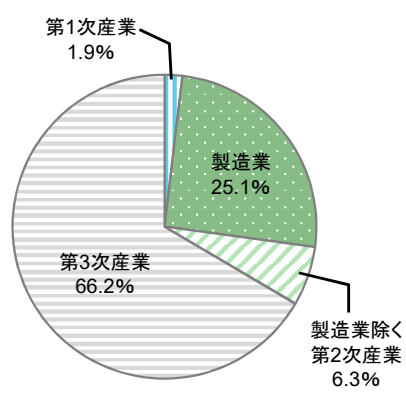
- 昭和56年の第1回大会(大分県開催)以来2回目の大分県での開催
- 式典行事をiichikoグランシアタ(大分市)、海上歓迎・放流行事を別府港で実施
- このほか、関連行事として、イベントを県内数箇所で行う予定

# (6) 大分県の産業

製造業の比率の高さは九州トップクラス。産業集積や県内への企業誘致を推進しており、長期に亘り多数の企業誘致を実現。

### 産業構造<sup>\*1</sup>

- 県内総生産のうち製造業が占める割合は高く、九州ではトップクラス



### 製造品出荷額等ランキング<sup>\*2</sup>

- 他県に比べると、人口総数の割に製造品出荷額等が高い水準となっている

順位	都道府県	製造品出荷額等	【参考】県内人口
：	：	：	：
23	新潟県	5.12兆円	220.1万人 (15位)
24	宮城県	5.00兆円	230.2万人 (14位)
25	愛媛県	4.76兆円	133.5万人 (28位)
26	大分県	4.71兆円	112.4万人 (34位)
：	：	：	：

### 大分県内における産業集積の状況

- 大分県内には、鉄・化学・石油などの素材型産業や、半導体・自動車などの高度加工組立型産業といった幅広い分野の産業がバランスよく集積している。

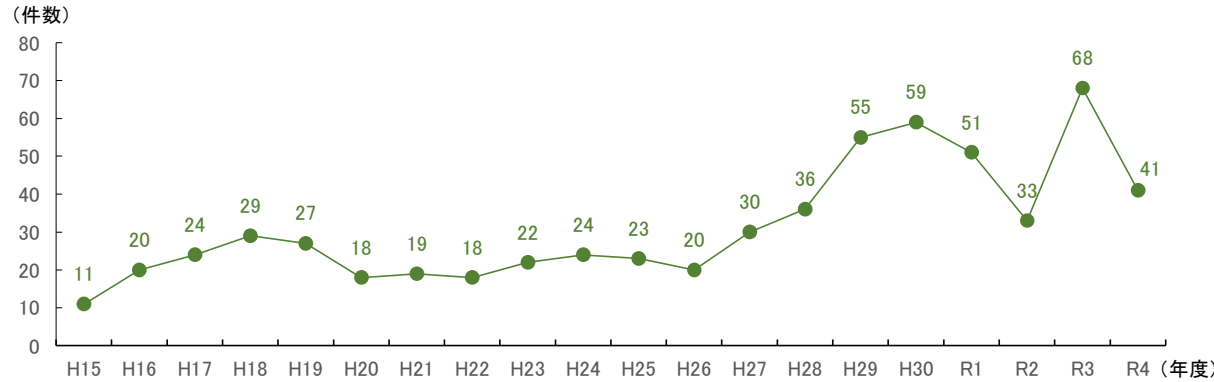
#### 【企業例】

大分キャンノ、ダイハツ九州、日本製鉄、サッポロビール、TOTO、ソニーなど



### 企業誘致件数の推移

- 支援制度の拡充に取り組んできた結果、長期に亘り多数の企業誘致を実現。
- 令和4年度は41件を誘致



\*1: 内閣府・県民経済計算、令和2年  
\*2: 経済産業省・工業統計調査、令和4年

# (7) 大分県のアクセス

本県では、「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」を策定しており、人の流れ・物の流れの拠点づくりに取り組んでいる。

## 県内・九州近郊のアクセス

- 福岡県・熊本県・宮崎県と隣接しており、東西・南北方向に交通網が整備されている

大分県の広域交通ネットワーク（令和2年3月時点）



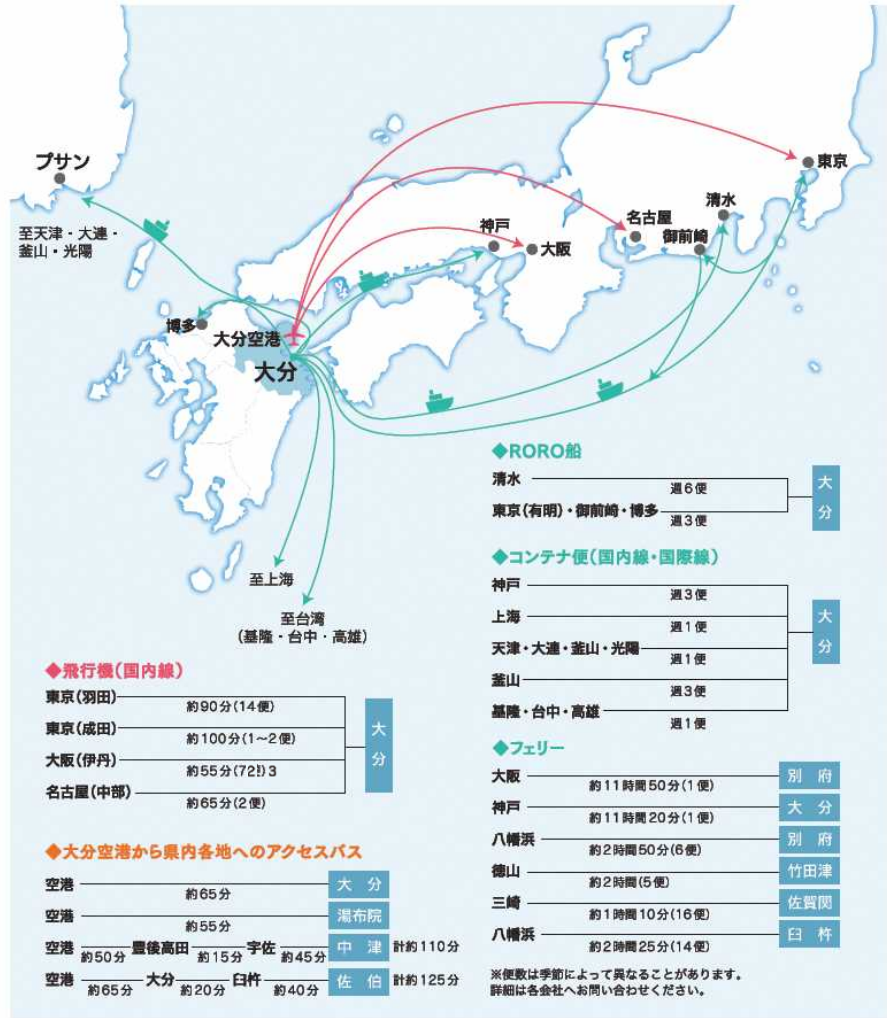
## ホーバークラフトによる大分空港への海上アクセス導入

- 大分空港へのアクセス改善を図るため、ホーバークラフトによる海上アクセスを導入予定。早ければ令和5年度(2023年度)中の運航開始を目指している
- ホーバークラフトでは、大分市と大分空港を最短期間30分で結ぶことが可能
- 発着地には、大分の新たな玄関口にふさわしいデザインのターミナルを整備



## 九州外・国外のアクセス

- 航空路線やフェリーなども巡航している



## (8) 大分県のビジョン

国内外の諸情勢が目まぐるしく変化する中、「安心・活力・発展プラン2015」～2020改訂版～を策定し、関係施策を着実に推進している。

### 時代の要請に基づく改訂版の柱

#### 大分県版地方創生の加速前進

- 少子高齢化・人口減少に正面から向き合い、減少カーブを緩やかにし、歯止めをかけ、地域の持続的な発展を目指す

#### 先端技術への挑戦

- 第4次産業革命がもたらす先端技術の波に乗り、地域が抱える様々な課題の解決や新たな産業の創出を図る

#### 強靱な県土づくり

- 近年、頻発化する大規模な自然災害を踏まえた抜本的な治山・治水対策を実施するとともに、地震・津波対策を推進

### 【基本目標】

## 県民とともに築く

## 「安心」「活力」「発展」の大分県

- 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県
- いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県
- 人を育み基盤を整え発展する大分県

### 安心

1. 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進
2. 健康長寿・生涯現役社会の構築
3. 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現
4. 恵まれた環境の未来への継承
5. 安全・安心を実感できる暮らしの確立
6. 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進
7. 多様な主体による地域社会の再構築
8. 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実
9. 移住・定住の促進

### 活力

1. 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現
2. 活力と変革を創出する産業の振興
3. 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興
4. 海外戦略の推進
5. 大分県ブランド力の向上
6. いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり
7. 女性が輝く社会づくりの推進
8. 活力みなぎる地域づくりの推進

### 発展

1. 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
2. 芸術文化による創造県おおいたの推進
3. スポーツの振興
4. 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実



## (10) 新たな方針と令和5年度の主な施策

- 誰もが安心して笑顔で暮らせる社会を目指し、「安心元気・未来創造」を政策の柱として大分県づくりを進める。
- 喫緊の課題である「物価高騰への対応」として、影響を受けた生活者や事業者に対し、必要な支援を実施する。

### 【令和5年度予算の状況】

#### 予算総額

(単位：百万円)

人口減少対策をはじめ、農林水産業の成長産業化や中小企業の振興、将来を見据えた未来創造の取組といった意欲的な施策を盛り込んだ**過去最高額となる積極予算**

・当初予算額	677,352
・7月補正予算案	47,259
累計	724,611
(4年度当初比)	6,770 +0.9%

(参考) 4年度 717,841

#### 主な補正予算案の内訳

(単位：百万円)

○ 新おおいた創造・発展枠 (予算特別枠)	66事業	2,108									
<table border="1"> <tr> <td>人口減少対策</td> <td>16事業</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td>将来を見据えた未来創造の取組</td> <td>22事業</td> <td>1,372</td> </tr> <tr> <td>物価高騰対策</td> <td>10事業</td> <td>6,870</td> </tr> </table>			人口減少対策	16事業	711	将来を見据えた未来創造の取組	22事業	1,372	物価高騰対策	10事業	6,870
人口減少対策	16事業	711									
将来を見据えた未来創造の取組	22事業	1,372									
物価高騰対策	10事業	6,870									
◆ 投資的経費	31,348	累計146,687 (▲1,860 ▲1.3%)									
うち公共事業	22,139	累計 94,281 (▲1,947 ▲2.0%)									
うち単独事業	8,751	累計 40,068 (+1,042 +2.7%)									

※ 上記内訳には重複する事業が一部含まれる。

#### 財政の健全性

持続可能な財政基盤の構築に向け、財政の健全性を確保

- 財政調整用基金残高
  - ・5年度末見込 約 261億円 (4年度末 約 332億円)  
目標：330億円 (令和6年度末)
- 県債残高
  - ・総額
  - 5年度末見込 約1兆663億円 (4年度末 約1兆809億円)
  - ・臨財債等除き
  - 5年度末見込 約 6,204億円 (4年度末 約 6,165億円)  
目標：6,500億円以下(令和6年度末)

※目標…大分県行財政改革推進計画 (令和2年3月) の目標

# (10) 新たな方針と令和5年度の主な施策

## 安心元気

### 安心

◎ <b>おおいた子育てババ応援事業</b> 男性の積極的な子育てを応援するため、父親や企業に対する意識啓発等を実施	14,789
◎ <b>妊産婦健診等支援事業</b> 妊産婦が安心して子どもを産むことができるよう、健診・出産に要する交通費等を支援する市町村に助成	3,881
◎ <b>自立支援型サービス推進事業</b> 介護予防を推進するため、ICTを活用した短期集中予防サービスの利用を推進	6,779
◎ <b>訪問看護強化事業</b> 訪問看護人材の確保を行うとともに、訪問看護ステーションの拡充を支援	7,592
◎ <b>てんかん医療・地域連携体制整備事業</b> てんかん支援拠点病院を指定し、医療と地域の連携体制を構築	2,959
◎ <b>障がい者就労環境づくり推進事業</b> 就労継続支援A型事業所の規模拡大支援や企業と障がい者のマッチング機会の創出	10,469
◎ <b>市町村避難所DX等推進事業</b> 避難所運営の諸課題の解決に向け、DX技術を活用した訓練を実施	4,672
◎ <b>警察犬運用体制強化事業</b> 犯罪捜査等の体制を強化するため、直轄警察犬の導入に必要な犬舎を設計	1,660
◎ <b>若年者移住サポート事業</b> 県外企業等向けのモニターツアーや、若年層の移住に向けた伴走型の支援を実施	37,946

### 元気

◎ <b>中山間地営農経営体強化対策事業</b> 中山間地域の経営体育成に向け、集落営農組織等の経営基盤強化の取組等を支援	96,975
◎ <b>畜産研究部施設整備事業</b> 畜産業の発展を図るため、畜産研究部の機能強化等に向けた施設整備を検討	30,000
◎ <b>林業再生県産材利用促進事業</b> 県産材の需要拡大及び循環型林業の確立を図るため、大径材の利用促進に向けた取組を実施	7,435
◎ <b>未来につながる養殖環境創生事業</b> 県内ブリ類養殖業等の経営安定のため、漁場環境改善に向けた取組等を実施	60,333
◎ <b>中小企業等デジタルスキル向上支援事業</b> 中小企業のデジタル化を進めるため、人材育成やデジタルツールの導入等を支援	31,653
◎ <b>おおいたスタートアップ支援事業</b> スタートアップエコシステム構築に向けたマッチングイベントや展示会等を実施	9,194
◎ <b>外国人労働者受入対策強化事業</b> 外国人材の受入れ・定着促進のため、就業環境の整備等への助成や海外に向けた情報発信を実施	47,025
◎ <b>国内誘客総合推進事業</b> 国内観光客の誘客を促進するため、デスティネーションキャンペーン期間中の割引クーポンを発行	80,000
◎ <b>女性が輝くおおいたづくり推進事業</b> 女性の活躍実現に積極的に取り組む事業者の認証制度を創設	13,038

## 未来創造

◎ <b>エネルギー関連産業成長促進事業</b> 水素ステーションの設置や水素燃料電池車両の導入助成、実証等を通じて水素の需要と供給を創出	117,020
◎ <b>おおいたグリーン事業者認証推進事業</b> 脱炭素やプラスチックの削減に積極的に取り組む事業者の認証制度を創設	24,449
◎ <b>地域再生可能エネルギー導入推進事業</b> 一般家庭等への高効率給湯器の導入助成や県有施設への太陽光発電設備を設置	43,600
◎ <b>Maas推進事業</b> 交通事業者等と連携し、大分空港を起点としたMaasの取組を加速	13,545
◎ <b>次世代モビリティサービス活用促進事業</b> 次世代空モビリティの活用を検討するための調査・実証を実施	21,172
◎ <b>地域における個別最適な学び推進事業</b> 地域の普通科高校生の探求力を向上させるための英・数講座及び若手教員の指導力強化を実施	10,338
◎ <b>未来を創る学力向上支援事業</b> 中学生の英語力を客観的に把握し授業改善につなげるための1年生を対象とした民間テストを実施	4,657
◎ <b>県立学校施設整備事業</b> 老朽化した校舎等の改築・大規模改造など施設等の整備を行うとともに、脱炭素化に向けた改修を実施	806,147
◎ <b>東九州新幹線推進事業</b> 東九州新幹線等の整備計画路線への格上げに対する機運を醸成するため、関係県とシンポジウムを開催	3,833
◎ <b>新長期総合計画策定事業</b> 時代の潮流を踏まえ、多くの県民の声を反映させた新たな長期総合計画の策定に着手	13,244

### 物価高騰への対応

◎ <b>社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業</b> 社会福祉施設等に対し、食材費や電気代等の高騰分の一部を助成	2,134,890	◎ <b>LPガス等価格激変緩和対策事業</b> LPガス消費者及び特別高圧受電事業者に対して激変緩和対策を実施	2,065,000	◎ <b>中小企業等エコエネルギー導入支援事業</b> 中小企業等に自家消費型太陽光発電設備等の設置費用を補助	425,000	◎ <b>堆肥広域流通・飼料生産拡大モデル事業</b> 飼料価格高騰対策のため、県域での飼料用米の流通対策を実施	64,764	◎ <b>地域消費喚起プレミアム商品券支援事業</b> 地域経済の活性化を図るプレミアム付商品券発行を市町村と連携して支援	2,010,000
---	-----------	---	-----------	--	---------	---	--------	--	-----------

## 2. 大分県の財政状況

---



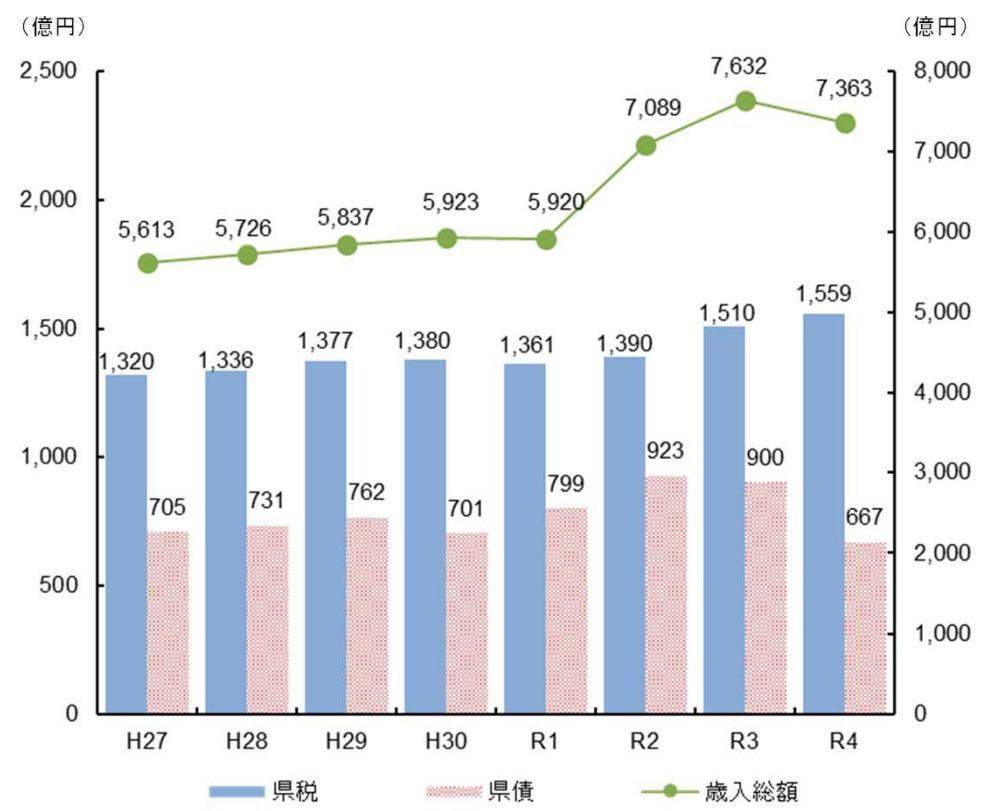
# (1) 普通会計決算の概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底と社会経済の再活性化、原油価格・物価高騰対策等に取り組む一方で、地方交付税及び臨時財政対策債の減少や営業時間短縮要請協力金の終了などにより、歳入・歳出規模はともに減少。

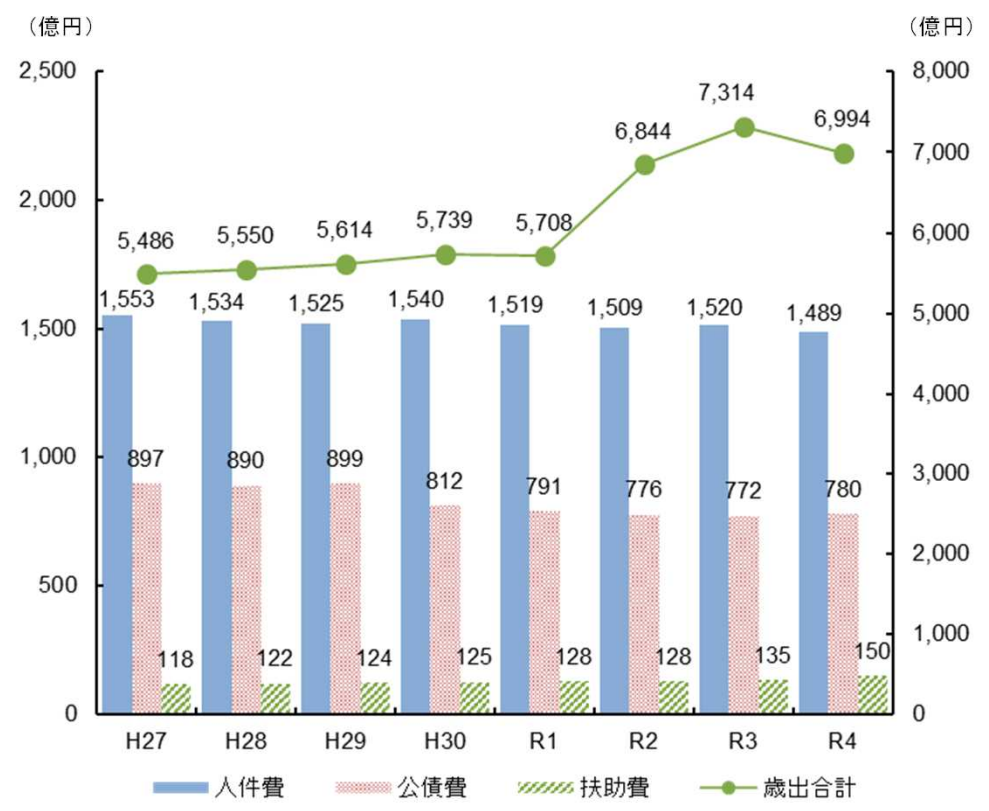
(単位:百万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質収支	2,846	2,769	3,150	3,054	3,245	4,408	5,046	8,927
単年度収支	86	△77	381	△95	191	1,163	638	3,880

歳入



歳出

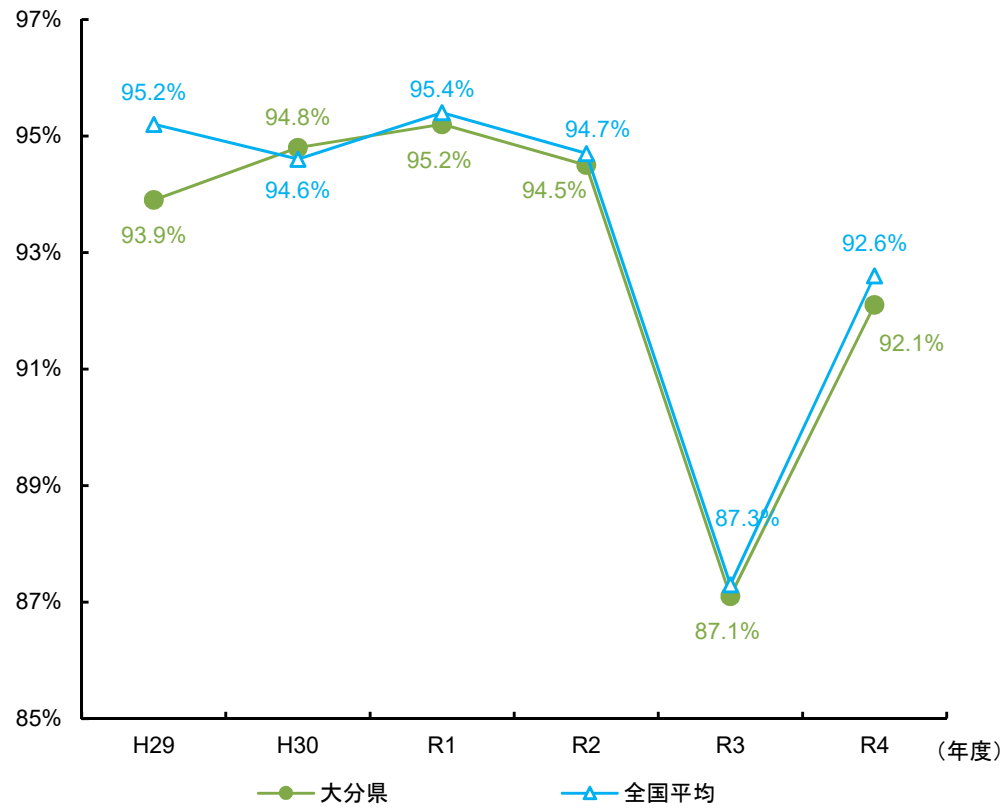


## (2) 主要な決算指標①

経常収支比率は、社会保障関係経費等の増により経常経費が増加し、地方交付税の減等により経常収入が減少したため上昇。公債費は増加したものの、臨時財政対策債の新規発行が減少したことに加え、交付税措置率の低い県債の発行抑制等に取り組んだ結果、プライマリーバランスは4年ぶりに黒字となった。

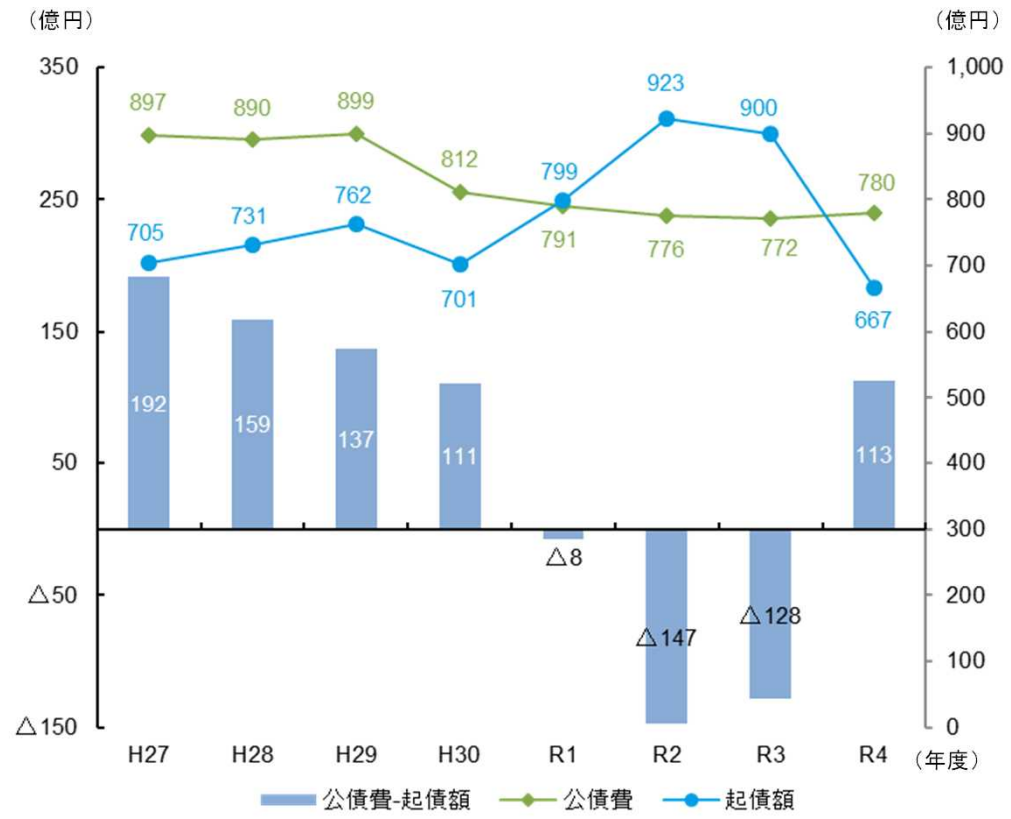
### 経常収支比率の状況

- 財政構造の弾力性を示しており、低ければ低いほど財政運営に弾力性が良いとされる。令和4年度は社会保障関係経費の増や地方交付税の減などにより上昇。(全国平均の令和4年度数値は速報値)



### 公債費及び起債額の推移

- 公債費は増加したものの、臨時財政対策債の新規発行が減少したことに加え、交付税措置率の低い県債の発行抑制等に取り組んだ結果、プライマリーバランスは4年ぶりに黒字となった。



## (2) 主要な決算指標②

財政健全化4指標は、いずれも早期健全化基準以下。

### 財政健全化4指標の状況

指標	大分県		都道府県平均 (令和4年度 <sup>*1</sup> )	早期健全化 基準	財政再生 基準
	令和4年度	令和3年度			
実質公債費比率	9.1%	8.6%	10.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	163.8%	159.9%	154.2%	400.0%	—
実質赤字比率 <sup>*2</sup>	(参考値)△2.68%	(参考値)△1.47%	—	3.75%	5.00%
連結実質赤字比率 <sup>*3</sup>	(参考値)△9.32%	(参考値)△6.74%	—	8.75%	15.00%

#### 実質公債費比率

- 県税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額(普通交付税が措置されるものを除く)に充当されたものの占める割合の前三年度の平均値。

#### 将来負担比率

- 地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、県の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率。県の一般会計等の借入金(県債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示した指標である。

#### 実質赤字比率

- 県の一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(県の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもの)に対する比率。

#### 連結実質赤字比率

- 公営企業会計を含む県の全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率。全ての会計の赤字や黒字を合算し、全体としての赤字の程度を指標化し、県全体としての財政運営の悪化の度合いを示した指標である。

\*1: 令和4年度の速報値を掲載

\*2: 赤字額はないため、黒字額による参考比率を負の数で表示

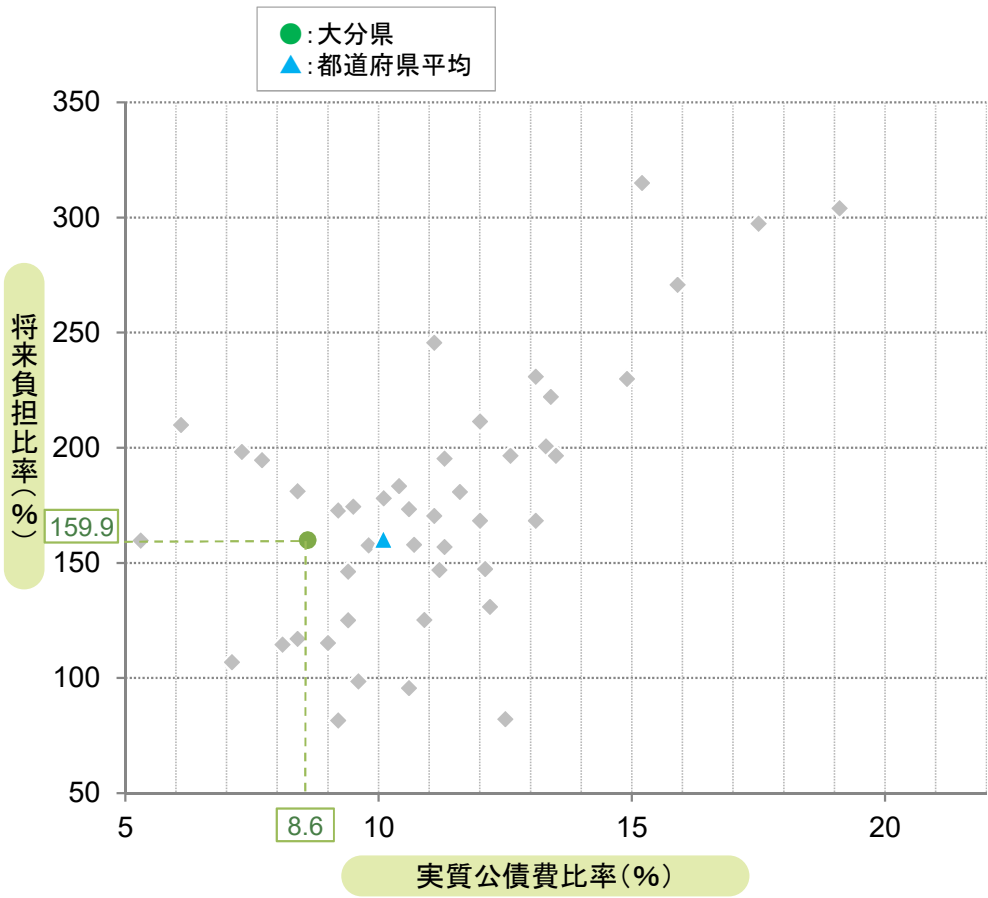
\*3: 赤字額はないため、黒字額及び資金剰余額による参考比率を負の数で表示

## (2) 主要な決算指標③

実質公債費比率は改善傾向にあり、全国平均を下回っている。  
 将来負担比率は、都道府県平均と同程度である。なお、本県では実質赤字は生じていない。

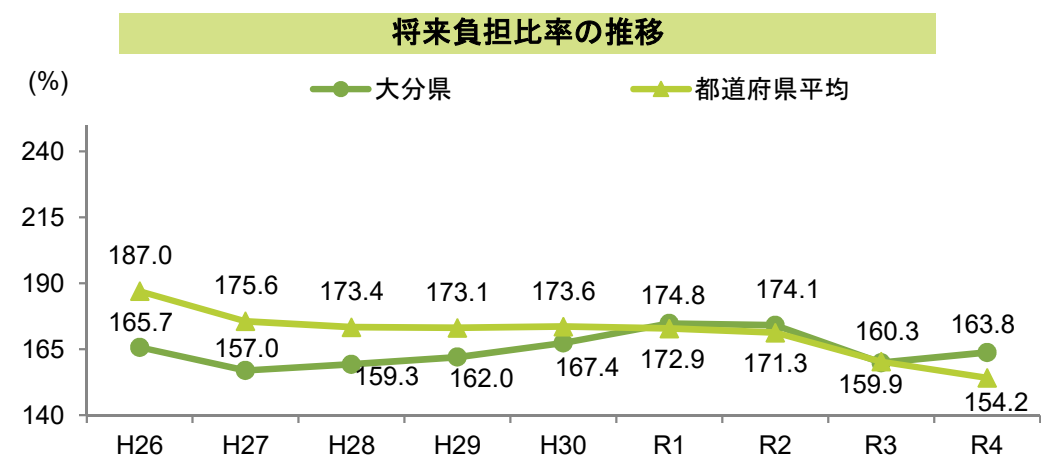
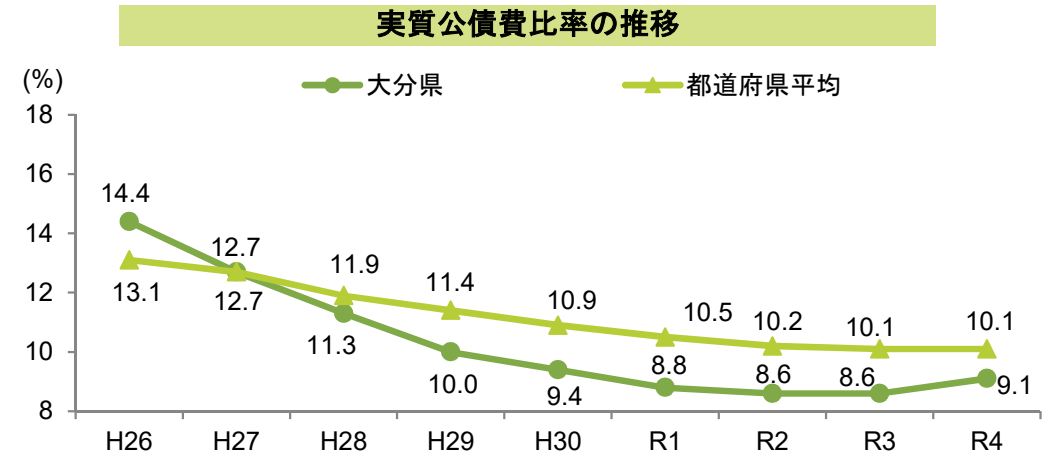
### 各都道府県との比較<sup>\*1</sup>

- 実質公債費比率は、大分県は都道府県平均よりも優位に位置している。



### 各指標の推移<sup>\*2</sup>

- 実質公債費比率は改善傾向であるが、交付税の減少などにより0.5ポイント上昇した。
- 将来負担比率は近年、都道府県平均と同程度で推移している。

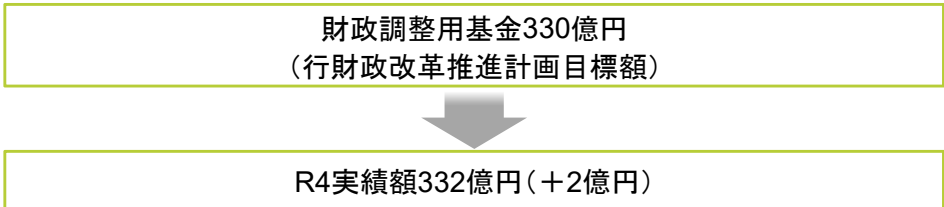
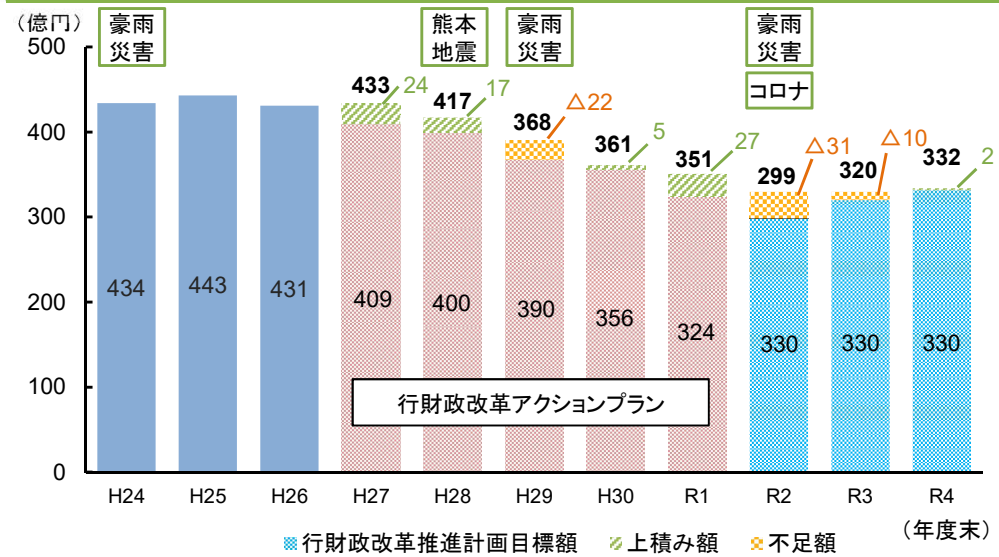


\*1: 令和3年度の確報値を掲載  
 \*2: 令和4年度の速報値を掲載

### (3) 財政調整用基金残高と県債残高の状況

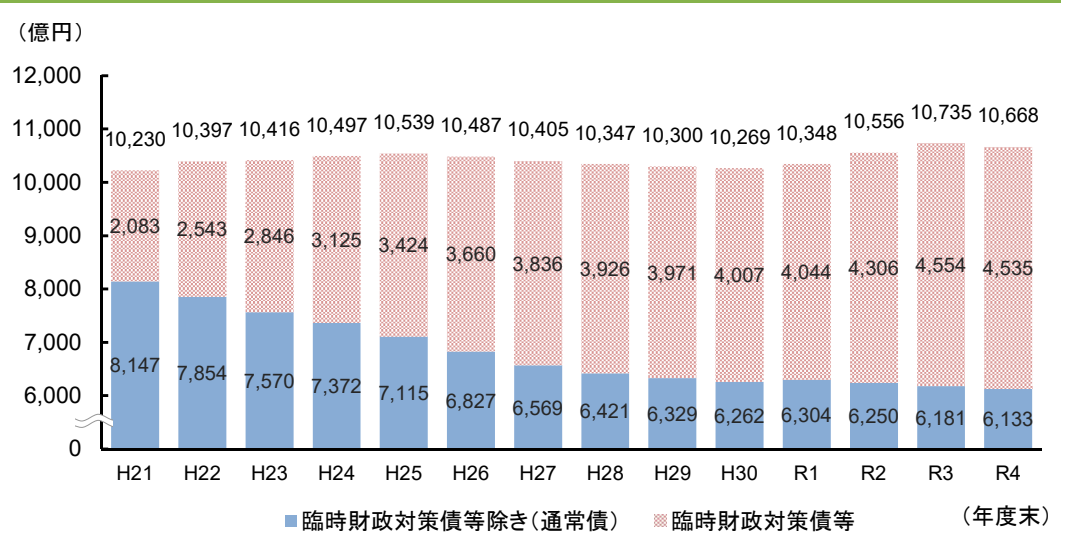
県税収入の増等により、財政調整用基金へ積み戻したことなどから、基金残高は増加。県債残高は、臨時財政対策債の新規発行の減少や交付税措置率の低い県債の発行抑制などにより4年ぶりに減少し、臨時財政対策債<sup>\*1</sup>等を除いた実質的な残高は目標の6,500億円以下の水準を維持している。

財政調整用基金残高の状況



対象	残高(令和4年度末) (百万円)	標準財政規模 (百万円)	標準財政規模に 対する割合
大分県	33,243	333,039	10.0%

県債残高の状況



県債残高は決算ベースで4年ぶりに減少  
通常債(臨時財政対策債<sup>\*1</sup>を除く県債)の残高も減少

背景

- ・臨時財政対策債の新規発行が減少したことに加え、交付税措置率の低い県債の発行抑制等に取り組んだ

\*1: 地方交付税の振り替わりに発行する地方債であり、その全額が後年度に交付税措置される

# (4) 地方公会計による財務諸表

令和3年度財務諸表は下記のとおり。  
 資金収支計算書の分析のとおり、大分県はしっかりと借り入れを行いながら積極的なインフラ整備を実施している。  
 その結果、有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)は、全国平均を下回っている(R2:大分県52.2% 全国60.9%)。

## ①貸借対照表

<b>資産</b>	<b>2兆1,935億円</b> (現在保有している財産)	<b>負債</b>	<b>1兆2,549億円</b> (将来世代の負担)
	対前年度+197億円 ■基金 +161億円 ■長期貸付金 +24億円		対前年度+92億円 ■地方債 +170億円 ■退職手当引当金△62億円
	<b>うち現金預金328億円</b>	<b>純資産</b>	<b>9,386億円</b> (現代までの世代の負担) 対前年度+105億円

## ④資金収支計算書

R2期末時点の現金預金残高		253億円
R3年度資金増減		+75億円
内訳	業務活動収支(行政サービスにかかる資金収支)	315億円
	投資活動収支(資産形成、投資・貸付金等の資金収支)	△413億円
	財務活動収支(地方債の発行・償還等の資金収支)	172億円
	歳計外現金	1億円
R3期末現金預金残高		<b>328億円</b>

大分県は借り入れを行いながら、積極的にインフラ整備を行っている。  
 地方公会計の推進に関する研究会報告書(平成30年度)(総務省)  
 P36 「資金収支計算書の各活動収支を用いた分析例」による分析

## ②行政コスト計算書

<b>経常費用</b>	<b>5,442億円</b> (資産形成に結びつかない経常的なコスト)
	対前年度+196億円 ■移転費用(補助金等) +121億円 ■物件費等 +119億円
<b>経常収益</b>	<b>176億円</b> (行政サービスの直接的な対価(使用料・手数料等))
<b>臨時損益</b>	<b>137億円</b>
<b>純行政コスト</b>	<b>5,403億円</b>

## ③純資産変動計算書

R2期末時点の純資産残高		9,281億円
R3年度純資産増減		+105億円
内訳	△純行政コスト	△5,403億円
	+財源(税収等)	5,506億円
	+その他(資産評価差額等)	2億円
R3期末純資産残高		<b>9,386億円</b>

# 3. 行財政改革の状況

---

### 3. 行財政改革の状況

## (1) 行財政改革の状況と成果

平成16年度以降、継続的に行財政改革に取り組んできており、着実に成果が見られている。

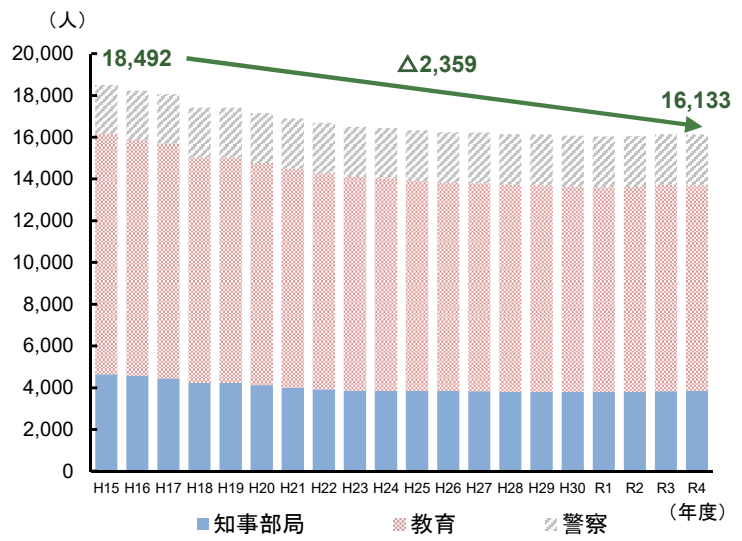
#### 行財政改革の取組状況

- 平成16～20年度の「行財政改革プラン」では、目標(1,455億円)を上回る1,835億円の収支を改善
- 平成21～23年度の「中期行財政運営ビジョン」では、定数削減や財政構造の改革を行い、さらなる収支改善を実現(財政調整用基金455億円確保(420億円の積)、県債残高目標より233億円の削減)
- 平成24～27年度の「行財政高度化指針」に基づき、行政の「質」の向上と「行革実践力」の発揮を主眼とする行財政改革を継続(財政調整用基金433億円確保、県債残高1兆403億円(対前年△84億円))
- 平成27～令和元年度の「行財政改革アクションプラン」では、県税収入等のさらなる確保、事務事業等の歳出の見直し、県有財産の利活用推進等により行財政基盤を強化(財政調整用基金299億円確保、臨時財政対策債等を除く実質的な県債残高は6,500億円以下の水準を維持(R2末残高:6,250億円))

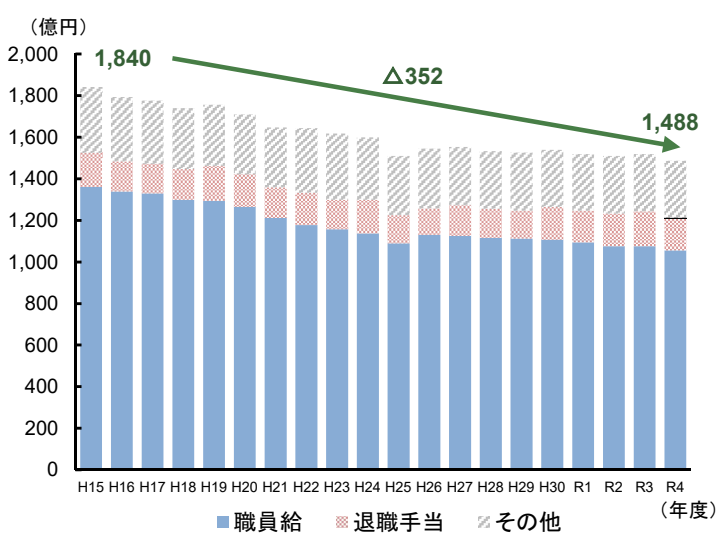
#### 行財政改革の成果

- 職員数は平成15年度から令和4年度までに、2,359人削減(△12.8%)。その結果、人件費は平成15年度との比較で352億円減少(△19.1%)
- 普通建設事業費は平成15年度から令和4年度までに、188億円の削減(△11.7%)。

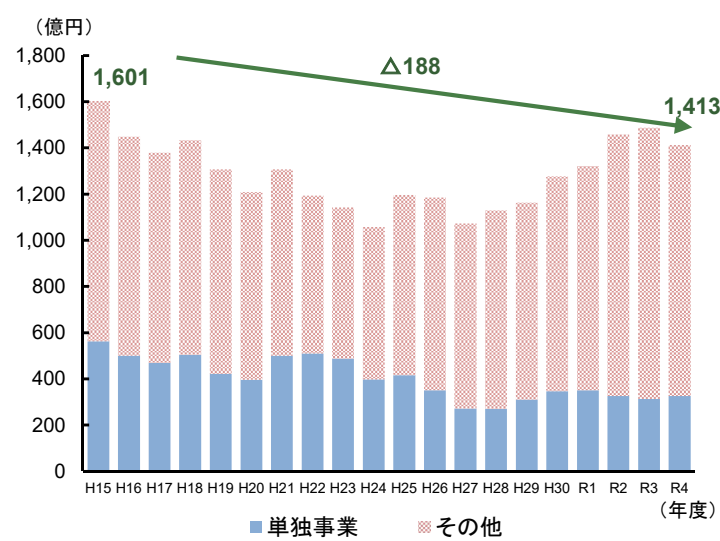
職員数の推移



人件費の推移



普通建設事業の推移





## (2) 大分県行財政改革推進計画～次世代型「スマート県庁」を目指して～

次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくりを進めていくため、現在の行財政改革推進計画を策定(令和2～6年度)

### 基本的な考え方

- これまで、累次の「行財政改革プラン」(H16～20)、「中期行財政運営ビジョン」(H21～23)、「行財政高度化指針」(H24～27)及び「行財政改革アクションプラン(H27～R1)」に基づき、聖域なき行財政改革に取り組み、着実に成果を挙げてきた
- 団塊(ジュニア)世代の高齢化等に伴い、2040年頃にかけて、生産年齢人口が急速に減少する一方、高齢者数がピークを迎え、既存の社会経済モデルが機能しないおそれ

人口減少・少子高齢化に立ち向かい、将来にわたって住みたいところに住み続けたいという県民の願いを叶えるため、第4次産業革命がもたらす革新的な先端技術も積極的に活用し、次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくりを進めていく

### 主な取組と実績

1 行政運営	2 社会保障	3 社会資本・公共施設	4 財政資源と職員人材の活用
<ul style="list-style-type: none"><li>● ICT等を活用し、「県民サービスの向上」と「行政の省力化・効率化」を同時に実現</li><li>● 市町村に対する技術支援、複数市町村による連携、多様な主体による協働と支え合い等を推進</li></ul> <p>【R4取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● R4年度までに約1,277手続の電子化を実現</li><li>● システム構築やAI・RPAの稼働等により、R2年度以降、約26.8万時間の業務時間を削減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ICTや保険者が持つビッグデータ等を活用し、「県民の健康増進・経済的負担抑制」と「社会保障制度の持続可能性の確保」を同時に実現</li><li>● 意欲ある高齢者の社会参加等を推進</li></ul> <p>【R4取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 県民向け健康増進アプリである「おおいた歩得」において、R4年度までに80,778件のダウンロード数を達成</li><li>● 介護保険事業所に年間で382台の介護ロボットを導入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 最新の予防保全の知見やICT等を活用し、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の計画的かつ着実な維持管理・更新を推進</li><li>● 将来にわたる県民ニーズを見据えて、公共施設の利活用のあり方を見直す</li></ul> <p>【R4取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 施設の将来あるべき姿を見据えた将来ビジョンをR4年度までに全指定管理施設で策定し、県民ニーズに即した施設の適正な管理運営を推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 健全財政の堅持を前提として、次世代に向けた必要な投資を戦略的に実施</li><li>● 公務能率の向上、ワーク・ライフ・バランスの推進及び職員の健康管理等の働き方改革を推進</li></ul> <p>【R4取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 財政調整用基金残高は、税収の回復等により、R4年度末に目標の330億円を前倒しで確保</li><li>● 県債残高は、交付税措置のない県債の発行抑制等により、目標の6,500億円以下を堅持</li></ul>

## 4. 公営企業等の状況

---

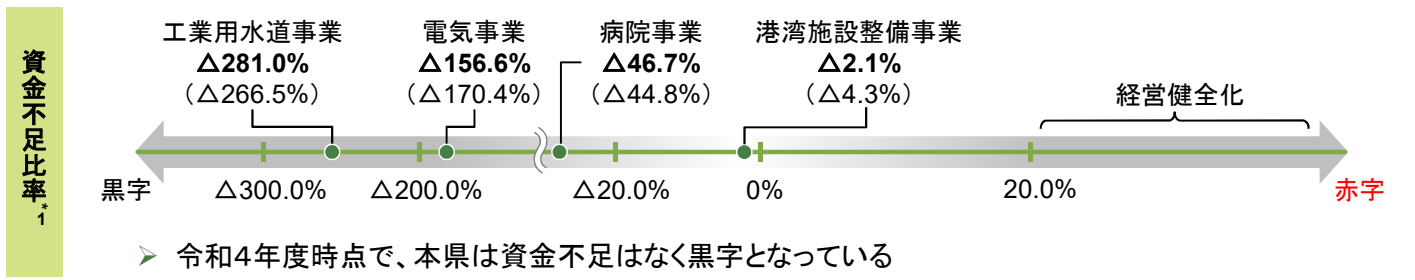
# 4. 公営企業等の状況

## (1) 公営企業決算の状況

工業用水道事業、電気事業、病院事業いずれも黒字経営を継続。経営健全化指標である資金不足比率は、資金の不足がなく、いずれも黒字。

(単位:百万円)

区分	工業用水道事業		電気事業		病院事業		
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	
貸借対照表	資産の部	24,272	24,121	27,496	25,578	25,387	23,025
	固定資産	18,016	18,451	21,337	20,596	13,323	12,902
	流動資産	6,256	5,670	6,159	4,982	12,064	10,123
	【繰延資産】						
	負債の部	5,127	5,267	10,483	9,536	17,962	16,288
	固定負債	1,659	1,795	8,740	7,913	10,323	9,625
	流動負債	648	505	1,594	1,467	4,124	2,936
	繰延収益	2,820	2,967	149	156	3,515	3,727
	資本の部	19,145	18,854	17,013	16,042	7,425	6,737
	資本金	15,705	15,514	14,706	14,706	1,137	1,137
【借入資本金】							
剰余金	3,440	3,340	2,307	1,336	6,288	5,600	
負債・資本合計	24,272	24,121	27,496	25,578	25,387	23,025	
損益計算書	総収益	2,267	2,206	3,318	2,402	20,848	20,356
	営業(医業)収益	2,041	1,992	3,185	2,319	18,591	17,844
	営業(医業)外収益	226	214	133	83	2,224	2,461
	特別利益					33	51
	総費用	1,977	1,753	2,297	1,756	20,160	19,267
	営業(医業)費用	1,961	1,731	2,085	1,682	19,036	18,251
	営業(医業)外費用	16	22	44	36	1,122	1,013
	特別損失			168	38	2	3
純損益	290	453	1,021	646	688	1,089	



- 資金不足比率とは、公営企業会計ごとの資金の不足額(流動負債の額から流動資産の額を控除した額)の事業の規模に対する比率
- 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示した指標である

\*1: 太字は令和4年度数値、括弧内は令和3年度数値

## (2) 地方公社の状況

県の「将来負担比率」に算入されるべき公社に対する債務保証・損失補償はない。

● 県の有料道路の無料化により、道路公社は平成23年1月末で解散している(全国4例目)。

(単位:百万円)

区分		大分県土地開発公社		大分県住宅供給公社		
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	
出資状況	出資団体数	1	1	1	1	
	出資金額	総額	30	30	10	10
		本県	30	30	10	10
その他団体		0	0	0	0	
貸借対照表	資産	流動資産	8,875	8,740	785	750
		固定資産	318	159	2,347	2,352
		繰延資産	0	0	0	0
		資産合計	<b>9,193</b>	<b>8,899</b>	<b>3,132</b>	<b>3,102</b>
	負債	流動負債	2,858	1,286	338	323
		固定負債	4,762	6,046	412	494
		特別法上の引当金等				
	負債合計	<b>7,620</b>	<b>7,332</b>	<b>750</b>	<b>817</b>	
	資本	資本金	30	30	10	10
		剰余金			2,372	2,275
		法定準備金	1,543	1,537		
資本合計		<b>1,573</b>	<b>1,567</b>	<b>2,382</b>	<b>2,285</b>	
負債・資本合計		<b>9,193</b>	<b>8,899</b>	<b>3,132</b>	<b>3,102</b>	
損益計算書	経常損益	営業収益(a)	5,422	5,282	1,289	1,225
		営業費用(b)	5,387	5,204	1,112	1,072
		一般管理費(c)	24	44	63	65
		営業利益(d = a - b - c)	<b>11</b>	<b>34</b>	<b>114</b>	<b>88</b>
		営業外収益(e)	6	5	0	1
		営業外費用(f)	0	0	18	19
		経常利益(g = d + e - f)	<b>17</b>	<b>39</b>	<b>96</b>	<b>70</b>
	特別損益	特別利益(h)	0			
		特別損失(i)	10			
		特定準備金計上前利益(j = g + h - i)	<b>7</b>	<b>39</b>	<b>96</b>	<b>70</b>
		特定準備金取崩(k)				
		特定準備金繰入(l)				
		法人税等(m)				
当期利益(n = g + h - i - m)	<b>7</b>	<b>39</b>				
(住宅供給公社) (n = j + k - l - m)				96	70	

### (3) 県出資法人の状況

県の出資比率が50%以上である団体等の、令和4年度の財務状況は以下の通り。

- 出資比率50%未満の団体についても、平成21年9月に策定した「公社等外郭団体に対する指導指針」に基づき、県関与の状況や財務状況等を確認し、その結果をホームページで公表している。

(単位:百万円)

団体名	業務概要	基本財産・出資金		貸借対照表			損益計算書		
		うち 県出資額	純資産 または 正味資産 (A-B)	総収益 または 当期収入額 合計	当期経常損益 または 当期正味財産 増減額	資産合計		負債合計	
						(A)	(B)		
(公財)大分県自治人材育成センター	県内自治体職員に対する研修の実施等	6	3	572	8	564	140	▲23	
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	県有施設の維持管理及び文化事業の企画・実施	504	504	872	130	742	1,227	▲125	
(株)大分高速鉄道保有	鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付	238	196	219	119	100	58	14	
(株)大分ブランドクリエイト	大分県フラッグショップの経営	95	50	105	52	53	220	16	
(公財)大分県総合雇用推進協会	地域雇用開発、高齢者雇用、障害者雇用に関する業務	1,065	754	1,200	19	1,181	243	▲63	
(公社)大分県農業農村振興公社	農地中間管理事業、農地保有合理化事業、畜産公共事業、農業人材確保・育成事業及び大分農業文化公園の管理	795	513	8,981	6,587	2,394	1,087	▲150	
(公財)森林ネットおおいた	林業労働力の育成確保	4,268	3,200	5,296	146	5,150	822	71	
(公社)大分県漁業公社	放流用、養殖用種苗の生産販売	84	50	118	69	49	186	▲37	
(公財)大分県建設技術センター	土木工事の積算業務の受託	30	20	1,725	169	1,556	518	115	
(公財)大分県暴力追放運動推進センター	暴力団排除活動の推進	610	465	633	6	627	24	0	

## 5. 市場公募債の発行計画

---

# (1) 令和5年度 市場公募債発行計画

例年通り、シ団方式では10月に10年定例債を発行予定。

## 令和5年度 発行計画

(単位: 億円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共同発行市場公募債 (通常分)	115			50	50							15	
共同発行市場公募債 (グリーン共同債分)	35								35				
10年債	100							100					
発行額計	250			50	50			100	35			15	

## (2) 個別発行市場公募債の発行実績

シ団方式では毎年10月に10年債を定例発行している。主幹事方式では例年7月に20年定時償還債を定例発行している(R5は発行予定なし)。

個別発行市場公募債の発行実績(シ団方式)

発行日	発行額	年限	表面利率	応募者利回り	対国債 スプレッド
H18.10.31	100億円	10年	1.80%	1.882%	16.4bp
H19.10.31	100億円	10年	1.87%	1.879%	16.5bp
H20.10.31	100億円	10年	1.57%	1.574%	14.0bp
H21.10.31	100億円	10年	1.35%	1.352%	9.0bp
H22.10.29	100億円	10年	0.93%	0.932%	6.0bp
H23.10.29	100億円	10年	1.00%	1.006%	3.5bp
H24.10.31	100億円	10年	0.80%	0.801%	3.5bp
H25.10.31	100億円	10年	0.68%	0.684%	4.5bp
H26.10.31	100億円	10年	0.539%	0.539%	3.0bp
H27.10.30	100億円	10年	0.476%	0.476%	15.5bp
H28.10.30	100億円	10年	0.060%	0.060%	12.5bp
H29.10.29	100億円	10年	0.205%	0.205%	16.5bp
H30.10.31	100億円	10年	0.289%	0.289%	13.5bp
R1.10.31	100億円	10年	0.050%	0.050%	—*3
R2.10.30	100億円	10年	0.135%	0.135%	10.5bp
R3.10.29	100億円	10年	0.135%	0.135%	6.5bp
R4.10.31	100億円	10年	0.444%	0.444%	20.0bp

個別発行市場公募債の発行実績(主幹事方式)

発行日	発行額	年限	平均残存年数	表面利率	応募者 利回り	スプレッド
H29.7.21	50億円	20年 (定時償還)	11.59年程度	0.459%	0.459%	9.0bp*1
H30.7.17	100億円	20年 (定時償還)	11.59年程度	0.380%	0.380%	8.0bp*1
R1.7.16	150億円	20年 (定時償還)	11.59年程度	0.190%	0.190%	—*3
R2.7.10	150億円	20年 (定時償還)	10.25年程度	0.281%	0.281%	19.0bp*2
R3.7.12	100億円	20年 (定時償還)	10.25年程度	0.208%	0.208%	16.0bp*2
R4.7.15	100億円	20年 (定時償還)	10.25年程度	0.493%	0.493%	18.0bp*2

\*1 11.59年ミッドスワップレート対比でのスプレッド

\*2 国債対比でのスプレッド

\*3 絶対値により条件決定



### (3) 共同発行市場公募債の発行実績

共同発行市場公募債について、令和5年度は昨年度に引き続き150億円(※)参画。 ※うちグリーン共同債分として35億円

共同発行市場公募債の発行実績

年度	総発行額	年限	発行月(発行額)
H20	100億円	10年	7月(50)、9月(50)
H21	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H22	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H23	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H24	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H25	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H26	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H27	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H28	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H29	150億円	10年	6月(50)、9月(30)、12月(50)、2月(20)
H30	150億円	10年	6月(50)、9月(50)、12月(20)、2月(30)
R1	150億円	10年	6月(50)、9月(50)、12月(20)、2月(30)
R2	150億円	10年	6月(50)、9月(50)、12月(20)、2月(30)
R3	150億円	10年	6月(50)、7月(50)、12月(20)、2月(30)
R4	150億円	10年	6月(50)、7月(50)、12月(20)、2月(30)
R5	150億円	10年	6月(50)、7月(50)、11月(35)、2月(15)

## 大分県のホームページのご案内

大分県ホームページ トップ: <http://www.pref.oita.jp/>

総務部財政課: <http://www.pref.oita.jp/soshiki/11400/>

大分県観光情報公式サイト: <https://www.visit-oita.jp/>

## IR資料に関するお問い合わせ先

### 大分県総務部財政課

住所 大分県大分市大手町3-1-1

TEL 097-506-2354(ダイヤルイン)

FAX 097-506-1718

E-mail [a11400@pref.oita.lg.jp](mailto:a11400@pref.oita.lg.jp)

